

※ 在宅当番医は変更が多々ありますので、当日の新聞（筑豊版）でご確認ください。

【総合体育館開催】★ウォーキング教室（9:30～11:00）★健康体操教室（14:00～15:30）

8月

- 1 (水) わんぱく教室（あそび）
10:30～11:30 総合福祉センター
- 2 (木) ★健康体操教室
- 4 (土) わくわくスポーツ体験塾
9:30～11:30 桂川小学校体育館
- 5 (日) 【当番医】清永整形外科医院
☎ 22・3440（飯塚市堀池）
- 7 (火) 胃・大腸・肺・前立腺・子宮・乳がん検診
8:30～11:00 総合福祉センター
健康相談
13:30～14:30 総合福祉センター
★ウォーキング教室
- 8 (水) 業者による補聴器定期相談
13:00～14:00 総合福祉センター
- 9 (木) 心配ごと相談
13:00～16:00 総合福祉センター
★健康体操教室
- 12 (日) 【当番医】松口循環器科・内科
☎ 26・0800（飯塚市楽市）
- 13 (月) 【当番医】上村皮ふ科・形成外科
☎ 22・2973（飯塚市忠隈）
【歯科当番医】（9:00～13:00）
てしま歯科クリニック
☎ 42・6623（嘉麻市平）
- 14 (火) 【当番医】永芳医院
☎ 72・0294（飯塚市阿恵）
【歯科当番医】（9:00～13:00）
中村しげお歯科医院
☎ 25・7648（飯塚市弁分）

- 15 (水) 【当番医】宮嶋耳鼻咽喉科
☎ 28・3347（飯塚市南尾）
【歯科当番医】（9:00～13:00）
中村歯科医院
☎ 22・0304（飯塚市立岩）
- 18 (土) 夏まつり桂川 2012
18:00～20:40 住民センター前
- 19 (日) 【当番医】三宅脳神経外科病院
☎ 25・5050（飯塚市楽市）
夏まつり桂川 2012
16:30～21:00 住民センター前
胃・大腸・肺・前立腺・子宮・乳がん・
肝炎ウイルス検診
8:30～11:00 総合福祉センター
- 20 (月) 母子健康手帳発行とお話
10:30～11:30 総合福祉センター
- 21 (火) 1歳6カ月児健診
13:15～14:00（受付）総合福祉センター
★ウォーキング教室
- 22 (水) 妊婦さん安心教室
9:45～10:00（受付）総合福祉センター
- 23 (木) 心配ごと相談
13:00～16:00 総合福祉センター
★健康体操教室
- 25 (土) ふるさと講座「筑前六宿開通 400 年を記念して」
～長崎街道筑前六宿を巡る～ 講師：竹川克幸氏
13:30～15:30 コグタイム王塚
- 26 (日) 【当番医】西園内科クリニック
☎ 24・9308（飯塚市小正）
- 28 (火) ★ウォーキング教室
- 29 (水) 妊婦さん安心教室
9:45～10:00（受付）総合福祉センター

- 30 (木) ピヨピヨ教室
10:30～11:30 総合福祉センター
★健康体操教室
- 31 (金) 乳児健診（受付は対象月齢によって異なります）
総合福祉センター
ブックスタート・フォローアップブック
スタート（町立図書館主催事業）
上記乳児健診時に読み聞かせし、絵本2冊を配布

9月

- 2 (日) 【当番医】きはら内科消化器科
☎ 20・9015（桂川町土師）
第5回分館対抗ソフトバレーボール大会
8:30～（開会式）総合体育館
- 4 (火) 特定健診（集団）
9:00～10:30（受付）総合福祉センター
※要予約（保険環境課 ☎ 65・1097）
★ウォーキング教室
- 6 (木) わんぱく教室（おやつ）
10:30～12:30 総合福祉センター
★健康体操教室
- 8 (土) わくわくスポーツ体験塾
9:30～11:30 桂川小学校体育館
- 9 (日) 【当番医】石田病院
☎ 62・2788（桂川町土師）
- 11 (火) 健康相談
13:30～14:30 総合福祉センター
★ウォーキング教室
- 12 (水) 業者による補聴器定期相談
13:00～14:00 総合福祉センター
心配ごと相談
13:00～16:00 総合福祉センター

* 町長室から *

▽映画・八日目の蟬 昨年の日本アカデミー賞で最優秀作品賞をはじめ十部門の賞を独占した映画「八日目の蟬」をDVDで観ました。

『母親が誘拐犯だった』という見出しから、推理サスペンス的な娯楽映画だろうと思いつながら観ていきましたが、段々と気持ち引き込まれ、釘付けされたようになってしまいました。

生まれたばかりの赤ちゃんを誘拐した女が、自分の子として育てながら様々な苦難を乗り越え、母子の愛情を温かく育んでいきます。逃亡の果てに母親（誘拐犯）が警察に捕まったとき『その子はまだご飯を食べていません』と懇願するように叫んだ言葉に思わず涙が出ました。

また、誘拐された娘が実母のもとに戻り苦悩しながら成長し、誘拐犯を恨みますが、別れる際に一緒に撮った写真館を訪ね、改めて幼い自分に愛情を注いでくれた母親として受入れるシーンも、涙を抑えることができませんでした。

映画を観終わった後、私には強いショックが残りました。『人が生きる』ということとはこういうことなのか!!と考えさせられました。

一般的に、蟬の寿命は七日間と言われていますが、タイトルにどんな意味合いが込められているのでしょうか？ 真夏を迎え、耳元でせわしく泣き続ける蟬の声の悲しく聞こえる夏です。

桂川町長 井上利一